

みんなで目指すのは職員・利用者のハピネス

医療法人社団久仁会 介護老人保健施設 いきいき

「いきいき」は、2019年4月から組織改革に取り組んでいます。大事にしたのは「現場が組織をつくる」こと。全老健が提唱するドーナツ型組織（職域平等型）を基盤とし、いずれも多職種を構成メンバーに、管理部門は外側、内側に現場職員からなる在宅・自立・生活支援課の3部門を設置。そして、中心に掲げた利用者との職員“ハピネス”を全職員で目指す形です。最高戦略責任者の嵐達也さんは、そのねらいについて「誰かの一言で方針が急に変わってしまう



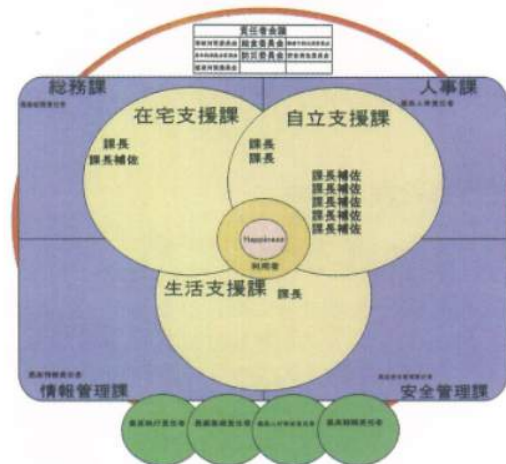
前列左から白川さん、長良さん、宮田さん、田中さん、後列左から松井さん、奈良さん、嵐さん、松本さん

ような権力の集中を取り払いたい、という思いを込めました」と説明。施設長で最高医療責任者の田中昌博さんも、「医師がトップで介護職が下層のピラミッド型ではなく、平均年齢40歳の多職種が活躍する若々しい組織ができつつあります」と話します。

改革の背景にあったのは、老健としてのあるべき姿を追求したいという思い。そのため組織の整備とともに、ほぼ実績のなかった在宅復帰への挑戦も開始しました。短時間リハビリの導入をはじめ、田中施設長も含めた入所前後訪問や病院・居宅介護支援事業所への周知活動を強化。ケアにおいても、最高人材育成責任者の宮田理香さんを主導に看護職と介護職でグループを組み、入所者一人ひとりのニーズに即した看取りや医療重度者の対応にもより一層注力しました。あわせてコストや人材のマネジメントも徹底。「みんなの頑張りを評価につなげ、経営にも貢献できるよう現場と経営のバランスを大事にしました」と最高執行責任者の松本靖夫さん。その結果、取り

組みから1年で超在宅強化型を実現しました。「今のところ新しい組織がうまく機能しています」（松本さん）。

今後について最高経営責任者の白川未緒さんは、「前向きな職員が多いのが当施設の強み。彼らの意欲を引き上げつつ、働きやすい職場を作りたい」と展望します。



議論を重ねて完成した新しい組織図

- 住所／北見市東相内町172-80
- TEL／0157-66-1111
- 入所定員／100名、通所定員／60名

掲載されました↓

老健 ほっかいどう

vol.7 2020年1月

一般社団法人北海道老人保健施設協議会

第1特集
いざ新時代「令和」老健の幕開け～地域の安心と信頼はここにあり～
第27回 北海道老人保健施設大会

第2特集
老健における医療重度者 対応をどう進めるか

編集紹介 「いきいき」「緑風」
運老健の血がつながる箱 **看護介護委員会**
編集 第2回 研修地の魅力探訪～札幌編①～